

5年間のひきこもりを含む8年間の無業生活から、夢が持てる会社へ入社。 ディースタンダード株式会社◎海崎 拓也さん (31歳)

**家族を助けるという名目で
自宅にひきこもる
生活を続けた**

高校卒業後、通信制大学で単位でも取るうと思っていたんですけど、ダラダラしちゃって……。そうしているうちに母が病気がかり、亡くなってしまいました。当時、

家にいたのは、僕と父と妹でした。大学生の妹は就職活動で忙しく、父も働いていたので、一番に僕が家事をするようになったんです。家事以外は、ゲームをしたり、テレビを見たり……。現実逃避していました。家族以外の人に「今、何やってるの？」と聞かれるのが恐怖でしたから、だんだんと家からは出なくなりました。

30歳になる直前に、とにかく何かしなくてはならないと思った僕は、自宅付近で募集していたアルバイトに片っ端から応募しました。でも、一つも受けられません。ショックから、ひどいうつ状態になり、僕は何カ月も寝たきり状態になってしまいました。あるとき

兄が見かねて「コネクションズかわさきに一緒に行ってみよう」と誘ってくれました。そこから急展開です。

この会社で働きたいと思えたから、「やめよう」と思ったことがない

コネクションズかわさきを運営するNPO法人育て上げネットのプログラムを受け、若者UPプロジェクトに参加。マイクロソフト社のテレワーク週間と連動した別海町留学に参加させてもらったのも、僕の気持ちに勢いをつけました。マイクロソフト社の人々などさまざまな人に助けられるなかで、「失敗を恐れず、いろいろなことをやってみよう」と考えられるようになりました。

ディースタンダードでのインターン期間にはIT-1（IT運用管理資格）を取ることでできましたし、半期ごとに行われる説明会にも参加できました。ふだん減多に会うことのない社員の方たちがズラリとそろった中に入れてもらって、経営方針の共有をさせてい

ただいた。これが入社を決めるポイントでした。社内の雰囲気もよくわかったし、率直な話もたくさん聞けた。「この会社で働きたい」と切実に思いました。

入社してからも、「やめよう」と思ったことは一度もありません。それは何もやっていなかった、あのつらい時期を繰り返したくないという気持ちが大きいですね。

●ディースタンダード株式会社

取締役 池田千尋さんからのメッセージ

弊社は、第二新卒や無業期間の長い社員がたくさん入社しています。誰もが同じような状況に陥る可能性があると考えているので、入社時に格段の区別はしていません。それに、最初のきっかけを掴むのに課題があっても大丈夫です。人々も、きっかけさえつかめれば伸びるのは早い。しかも、弊社にはさまざまな職種があるので、その人に合った仕事に必ず巡り会える。だから、いろいろな仕事にチャレンジしてみたいと思います。



▲右は、ディースタンダード株式会社取締役 池田千尋さん。

高校卒業後、父の転勤に伴ってドイツへ。ドイツの大学受験を目指していましたが、システムの違いから受験できず、失意のまま帰国。帰国後、母の闘病生活を支え、母の死を看取った海崎さんは、自宅にひきこもりながらも家族を支えるために家事を行いました。30歳を前にうつ状態になったしまった海崎さんを心配した兄からのすすめでコネクションズかわさき（旧かわさきサポステ）へ。その後、海崎さんはディースタンダード株式会社でインターンを行い、2015年10月、同社へ入社しました。

